

## 会 議 録 要 旨

- 1 会 議 名 令和5年度 第2回さぬき市地球温暖化対策実行計画検討委員会
- 2 日 時 令和6年1月22日（月）9：30～11：00
- 3 場 所 さぬき市役所本庁4階 第2委員会室
- 4 出 席 者 （出席委員）  
古川委員 尾崎委員 高畑委員 伊藤委員 木村委員  
向井委員 間嶋委員 津田委員 佐藤委員  
（事務局）  
市民部 山下部長  
市民部生活環境課 山下課長 大生課長補佐 今井主査  
（委託者）  
国際航業株式会社
- 5 傍 聴 者 なし
- 6 会議次第 1 開会あいさつ  
2 議事  
(1)さぬき市地球温暖化対策実行計画（素案）の修正について  
3 その他  
4 閉会あいさつ

### 7 議事の経過及び発言要旨

＜ 開 会 ＞ （ 9 : 3 0 ）	
事務局	<p>本日は、ご多忙にもかかわらず、ご出席いただきありがとうございます。</p> <p>ご案内の時間が参りましたので、只今より、令和5年度第2回さぬき市地球温暖化対策実行計画検討委員会を開会いたします。</p> <p>開会に当たりまして、古川委員長より御挨拶を申し上げます。</p>
委員長	<p>（挨拶）</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>議事に入る前にお知らせいたします。</p> <p>本日の会議は、前回と同じく公開することとしております。また、議事録につきましても、市のホームページに掲載して公表することとなりますのであらかじめ御了承ください。</p> <p>なお、本日は、傍聴希望者はおりませんので御報告いたします。</p> <p>それでは、これより会議の進行は、さぬき市地球温暖化対策実行計画検討委員会設置要綱に基づき、古川委員長をお願いいたします。</p>
委員長	<p>分かりました。</p> <p>それでは、次第に基づき議事を始めたいと思います。</p> <p>なお、本日の会議につきましては、おおむね2時間程度を予定しております。時間に限りは御座いますが、忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。</p>

<p>事務局 委託者</p> <p>委員長</p> <p>委員</p>	<p>また、本日も前回に引き続き、議事に係る説明を聞くため、「さぬき市地球温暖化対策実行計画」に関する委託業者である国際航業株式会社の担当者に出席を求めています。</p> <p>では、議事の「さぬき市地球温暖化対策実行計画（素案）」の修正について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>&lt;資料に基づき説明&gt;</p> <p>只今の説明に対して、質問やご意見はありませんか。</p>
<p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>1 頁目、図-1 について、前回、二酸化炭素の増加と気温の増加が見事に一致していると伝えましたが、二酸化炭素の増加は大体 19 世紀の初め頃であり、気温が上がってきたのは 20 世紀の初頭なので 100 年くらいのズレがあります。最近になって二酸化炭素と気温が上がったという事がこの図では分かりにくいので、図をもう少し期間の長いものに変えて欲しいのと、2 頁目 (2) の最後に COP28 を入れた方がいいと思います。COP28 は一番最近であり、発展途上国と先進国での合意が行われ、大きく前進したので是非載せて欲しいです。</p> <p>記載するよう検討してみます。</p>
<p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>35 頁の 2 段落目、「2030 年度までに環境省「脱炭素先行地域」の指定を受けることを検討します。」についてですが、現在まで 100 ヶ所中 74 ヶ所が指定されており、事業としては終盤にきていると思います。国の方でも先行地域事業は、2025 年度まで続けてくという事にはなっていますが、この夏に第 5 回の募集があり、その次の第 6 回が来年の夏くらいにあり、そこで最後になるのかなと思っています。その場合、さぬき市が今からスケジュール化して先行地域を目指せるのか、こういう計画の中に、目標だけ掲げて、実際にどういう風にもその目標を達成するかという事があまり書かれていないものが多い中で、具体的に書いているというのはすごくいいと思うので、この書きぶりを先行地域だけではなく、「国の支援事業等を活用して・・・」というような形にしてみてもどうでしょうか。やはり先行地域の採択となると相当レベルの高い提案が多いので、これをゼロから計画を作るとなると、正直言うと相当ハードルが高いように思います。</p>
<p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>書き方については、事務局の方で検討させていただきます。</p> <p>年末に地球温暖化の影響で今後こうなるだろうという警告が某新聞で記事に出了。今世紀半ばには熱中症関連死亡率が近年の 4.7 倍になるであろうと予想が 1 点。2 点目は、高温や干ばつで農作物が取れなくなりやがて人々は栄養失調に陥る。3 点目は、蚊の生息域が拡大してマラリアやデング熱の流行の地域が広がる。その他海水温が上昇して海藻が減少する、そうすると魚が減るなど、こういった人体にも影響してくるようなことが、少しでも計画書の中に記載があると、説得力があると思います。</p> <p>また、光合成による二酸化炭素の吸収と酸素の排出ということで里山の森の再生ということを記載してもらいましたが、最近の研究では海藻についても吸収すると言われており、県も今海藻の再生に取り組み始めています。こういったことも踏まえてさぬき市の特性を出さないとどこの市町も似たような計画になってしまいます。さぬき市は特にここに重点を置きたいという事を出さないと、説得力がないし、特徴がないと思います。</p>

委員長	さぬき市においての特徴とはどういったものがあるのでしょうか。
委員	まず身近な里山の再生によって光合成による二酸化炭素の吸収で少しでも低減していくこと、今後の課題としては海藻による光合成に着目するというところに重点を置いていただくとありがたい。また、子供対象の環境学習をしているのは全国でただ一つ香川県だけなので、さぬき市においても環境学習について取り組むべきだと思います。
委員長	事務局の方で、計画書に記載できる範囲で検討をお願いします。
委員	<p>おそらくここで記載している取組は、緩和策にあたるもので、再生可能エネルギーの導入や省エネにより温暖化を食い止める事に焦点を置いていることだと思います。</p> <p>一方で緩和策とは別に適応策という形で気候変動適応法に基づく事業計画というものがあります。適応策は努力義務にはなりますが、私たちの人間生活を保つためにも私たちのライフスタイルを変えていくことを取りまとめていくものであり、もし、さぬき市で適応計画を今後、定める予定があるのであれば、自治体によっては緩和と適応が似ている部分もあり、実行計画の更新のタイミングで、実行計画と適応策を一つの計画する場合もあります。そういう事例も含めて緩和策と適応策は重要だと思っているので、適応策について計画に記載するかどうか検討してみたいと思います。</p> <p>また、地球の温暖化が深刻な現状であるということについて、もっと深刻に捉える事が大事だと思います。エルニーニョ現象も地球温暖化と関連しているのでどこかに記載して欲しいです。</p>
委員	53 頁の最後に、結びの言葉を入れてはどうでしょうか。「地球の温暖化は短時間で解決する課題ではないが、様々な施策を講じつつ、重点化することにより少しでも低減していくよう根気強く取組んでいきたい」等、言葉で結んでいくことが大切だと思います。
事務局	市が作る計画書は読みものではないので、終わりにまとめてしまう方法は他の計画でもしていません。一つの計画だけで完結するのであれば、「終わりに」という言葉もあると思いますが、5 年ないし 10 年で次の計画を見直していくというような流れを最後に書くことが今は主流となっています。「終わりに」を入れるかどうかはもう少し検討させてください。
委員	項目を設けなくていいので、PDCA の下に今後の誠意決意を 2 行でも 3 行でもいいので入れて欲しいと思います。
委員長	53 頁は図で終わっているのですが、その下に数行程度文章を追加してはどうでしょうか。
事務局	検討します。
委員	これは単純に施策として進めるという事だけではなく、家庭などで負担するものが増える可能性があるということでしょうか。予算を割り振りながらやるという事なのか。予算を使う場合、市民生活に道路の補修を遅らせる等といった支障が出ることはないのでしょうか。費用対効果の詳細や必要とする予算との兼ね合い等、お金が絡んでくるものについては行政の予算もあることなので随時検討しながら各年度で考え

	ていくのだと思いますが、計画を実行するための費用や予算について、全国レベルで費用がこのくらい、今後の行政の予算、国からこれくらいのお金が出るので事務範囲でできる等、そういった事は他の自治体の計画書にも記載はしていないのでしょうか。
事務局	他市町の計画書を拝見したことはありますが、そこまでの内容を記載しているものはあまり見たことがありません。
委員	市民への負担や、行政サービスが今までとは変わるのか等、市民レベルで示していないと、なかなか理解が得られないと思います。
委員長	中長期的に予算を裏付けるというのはなかなか難しいと思いますが、市のスタンスや、進捗をチェックする機会があってもいいのかなと思います。
委員	企業では計画を立てる時に計画内で PDCA を回し、どういうことが起きるかを想定しながらプランを立てないといけない。そうすると問題が起こっても想定内という話になってきます。想定外になると計画が立ち行かなくなることもあるため、計画を立てるという事は非常に難しいことであり、プロセスを踏んでいく過程の中でどんなことが起こり、どんな反発が起きるのか等を想定し、計画を組んで欲しいと思います。
委員長	今の意見も踏まえて事務局の方で検討をお願いします。
委員	5 頁の「ISO14001」や 35 頁の「ZEB 化」等、これはどこかに説明があるのでしょうか。一般の人が読む時に分かりにくいと思います。
事務局	・「ISO14001」については資料編に、「ZEB 化」については「ZEH と ZEB」という形で本編の 46 頁に載せています。
委員長	簡単な説明を本編に、詳しくは資料編でという事で入れてもらえたらと思います。
委員	5 頁の「ISO14001」は、事業者に ISO の取得など、より活動を推進すべく行政体として支援、あるいは後押しをするという意味なのでしょうか。
委員長	普及という事だとそういう事になりますね。さぬき市自身が取得するという事も考えられます。行政によっては取得しているところもありますから。
委員	39 頁の「再生可能エネルギー導入等による CO2 削減量」の内訳はどこにあるのでしょうか。「森林吸収量」についても、文章上では 15,078 t-CO2 で、その後同じ数値となっていますが、この計算についての記載はあるのでしょうか。
委託者	図 5-2、2050 年度の温室効果ガス排出量（水色の部分）の 65,852 t-CO2 については資料編の 30 頁に載せています。真ん中の再生可能エネルギー導入等による CO2 削減量（ピンクの部分）の 81,485 t-CO2 については再エネの導入量の合算と森林吸収量の合算になっているため計算はしていますが、内訳は載せていません。
委員	最終的にここが目標になってくると思うので、重要な数値だと思います。カーボンニュートラル達成のための数値の内訳が資料編を見ても分からないのでは、今後チェックする時に支障があるのではないのでしょうか。資料編でも良いので、どういう計算式に基づいて、この数値になっているかは記載していただけたらと思います。

	<p>おそらく現時点ではブルーカーボンの吸収量を入れておらず森林吸収量だけだと思うので、今後見直すとなった時、ブルーカーボンの計算式ができた等で、この数値が良くなったり、「再エネをここまでしなくて良いかも・・・」という数値の見直し等もあると思うので、その時のためにも基本となるべき数値がどういう風に計算されたのかというのは非常に重要なと思うので、その記載も検討して欲しいと思います。</p> <p>また、再エネの導入等による CO2 削減量というのは環境価値を買ってきたものではなく、ここまで自分の環境資源の中で入れる再エネだけで十分達成できるという見込みの計算になっているのでしょうか。</p>
委託者	<p>そうなっています。</p>
委員	<p>カーボンニュートラルに向けて、太陽光発電の導入が進むのはいい事だと思います。しかし、天気の良い日には太陽光の自家発電で電力会社を必要としないが、天気が悪く自家発電ができない等、電力会社を必要とする場合、電力会社はいざというときに 100%供給できる体制を維持していく必要があると思います。</p> <p>個人的な考えですが、供給する時の電気代が高くなると採算が合わなくなり、電力会社も協力体制にありますが、各事業者も含めて費用対効果というのは非常に悩ましいポイントだと思います。事業が成り立たなくなるともっとややくしい問題になり、そのため、電力会社とどういう風に連携をとっていかないといけないのかが非常に大きなポイントだと思います。無作為に推進するだけでは電力会社にどう影響が出てくるのか。電力サイドの懸念というものがこの中に含まれることもなく、理想形の実行計画（国策）という事で進んでいるので、折に触れて意見報告しながら進めていく必要があると思います。</p>
委員	<p>資料編の 30 頁に電気の排出係数がありますが、資料では 0.250kg-CO2/kWh という数字が出ています。電力会社としても、排出係数については重要だと認識しており、再エネ導入目標も立てるなど、カーボンニュートラルに向け取り組んでいますが、まだ具体的な数値として示されていません。努力で貢献していきたいというレベルです。ただ、安定供給を含めて、しっかり考えていかなければならないと考えています。</p>
委員	<p>42 頁の本市の取組施策、1 番上の項目に「公共施設をはじめ、住宅や事業所等の建物の屋根等に太陽光発電設備及び蓄電設備の導入を検討する。」、3 番目に「駐車場を活用した太陽光発電付きカーポート（ソーラーカーポート）の導入を検討する。」と書いてありますが、公共施設は市の考えとしていいのですが、住宅や事業者にも太陽光発電設備の導入を検討すると書いてあるのがどういう意味なのか。市の施策として住宅の屋根を借りて太陽光発電を付けるのか、それとも市民につけてもらうという意味なのか。そういった意味であるならば、次以降の項目が促進や啓発等の言葉を使っているので、個人の方にそういったことをやってもらうのであれば促進や啓発等に使い分けた方がいいではないでしょうか。</p>
委員	<p>市民・事業者のできることを取組内容のところに、CO2 削減効果と節約金額がありますが、市民と事業者にできることで何らかの前提があって効果や金額が出てきていると思いますが、市民と事業者ではやることに相当な開きがあると思います。資料編の 61 頁のデコ活の取組内容からきていると思いますが、どういう前提でこれが出てきているのか分かりません。環境省のウェブサイトまでは見ていませんが、何か前提がついていると思うので、そういったものがあれば、どれくらいの事でこれくらいのエネルギーが節約できるのか分かった方が市民も努力しやすいのかと思います。</p>

委員長	簡単すぎて分かりにくいところがあると思うので、この記載についても修正をお願いします。
事務局	資料編の 61 頁目、デコ活の後に前提条件を追加します。 また、42 頁本市の取組施策の 1 項目、3 項目は、「検討する」から「促進する」に修正します。
委員長	今の言葉の使い分けについて、42 頁だけでなく他のところも再度確認してください。市民が主体的にやるのか、市が啓発するのか、その辺りで言葉の使い分けの確認をお願いします。
委員	現状の技術レベルで議論せざるを得ないが、おそらく 2050 年には新しい技術が出ていると思います。新しい技術も取り入れながら推進していくというような記載があってもいいのではないかと思います。途中に入れるのも難しいので、最後に総括的に今後の技術革新も導入しながら、より実行計画のスケジュールを進めていくというような文言があってもいいかと思います。
委員長	技術的なことは書かれていませんが、53 頁に継続的に見直していくというようなことは書いてあります。見直しは必要なことなので、適宜その時々技術の状況や経済的な状況を踏まえて見直しする機会を作っていくという事を最後の部分に入れたらいいと思います。
委員長	色々な意見をもらい、それをどんどん書けば内容的には充実していくと思いますが、多くなりすぎて逆に読んでもらえなくなるという懸念もあります。あまり分量を増やさず、資料編と使い分けて意見を踏まえて作成して欲しいと思います。
事務局	承知しました。
委員長	それでは、今日頂いた意見を基に修正してもらい、パブリックコメントに出す資料を委員に送ってもらうようにします。 他にご質問はありませんでしょうか。
委員	財源の話になりますが、企業版ふるさと納税というものがあり、企業版ふるさと納税では本社の所在している自治体に対する寄付ができないので、本店の所在地である自治体に対して用途限定でふるさと納税を認める等、そういった事を自治体から国の方へ声を上げて欲しいと思います。税制上の色んな恩恵が加わるような方向性など、一度検討の余地があると思います。是非、自治体ですり合わせをして声を上げてください。
事務局	承知しました。
委員長	他にご質問はありませんでしょうか。 ないようであれば、事務局から「その他」として何かありますでしょうか。
事務局	今後についてであります。本日、皆様からいただいたご意見を参考に修正を行った後、2月に市民の皆様のご意見を伺うパブリックコメントを実施することとしております。 なお、第3回検討委員会につきましては、3月を予定しており、パブリックコメントで出たご意見を踏まえ、修正を加えた計画の最終審議を行い、「さぬき市地球温暖

委員長	<p>化対策実行計画（区域施策編）」を策定したいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは以上で、第 2 回さぬき市地球温暖化対策実行計画検討委員会を閉会します。本日はありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">＜ 1 1 : 0 0 閉会＞</p>
-----	--